

令和5年度決算の概要

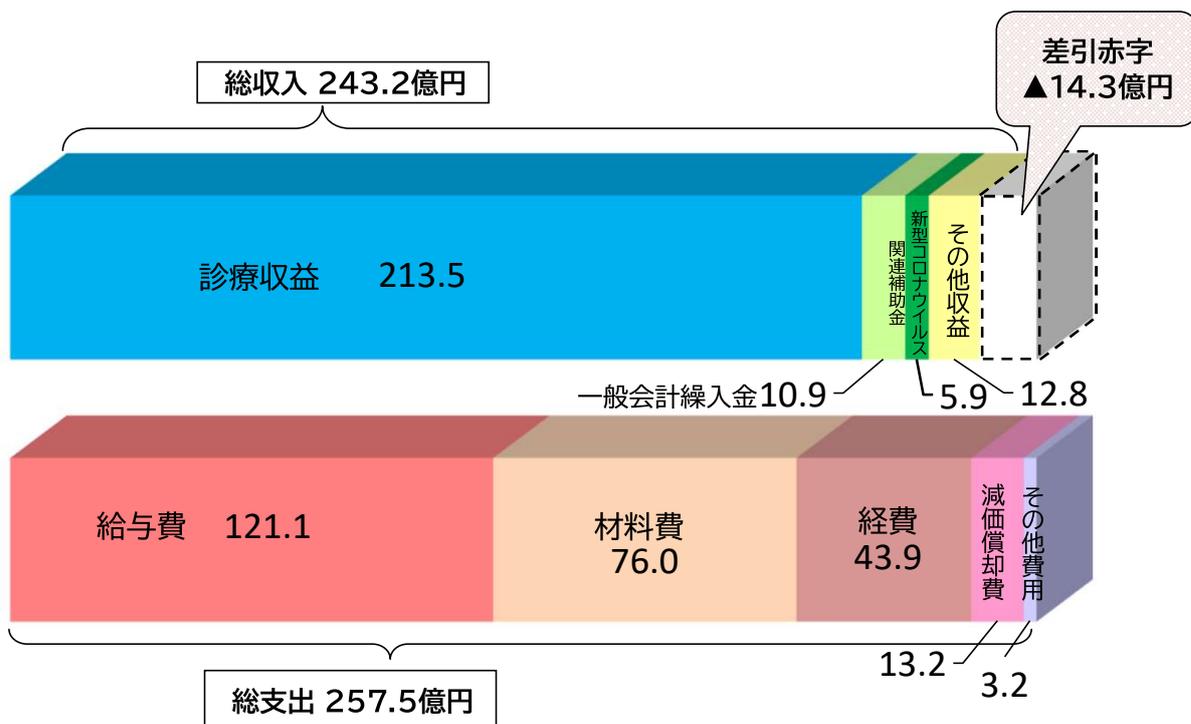
令和5年度の病院事業会計決算は、令和5年5月8日より新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類へ移行に伴い一般診療の制限が緩和されたため、入院患者数が増加し、診療収益は前年度と比較して12.1億円の増加となりました。

一方で、病床確保促進事業費補助金が前年度から23.5億円減少し、経常収支は15.9億円の悪化となっています。

資金の状況としては、令和5年度単年度の資金残は8.4億円、過年度内部留保資金等を合わせた年度末資金残は7.5億円となりました。

(1) 収益的収支(税込) <経営に伴って生じたすべての収益とそれに対応する費用⇒1年間の経営成績>

※端数処理により合計が一致しない場合があります。



【前年度との比較】

<総収入>
対前年度 ▲8.4億円(▲3.4%)

<内訳>

○診療収益 対前年度 +12.1億円
患者数の増加により、入院収益・外来収益がともに増加したことによる。

○繰入金 対前年度 +1.4億円

○新型コロナウイルス関連補助金
対前年度 ▲23.6億円
感染症病床確保促進事業費補助金の減少など。

○その他収益 対前年度 +1.7億円

<総支出>
対前年度 +7.5億円(+3.0%)

○給与費 対前年度 +1.5億円
人事委員会勧告による勤勉手当等の増加などによる。

○材料費 対前年度 +4.4億円
物価上昇、患者数の増加などによる。

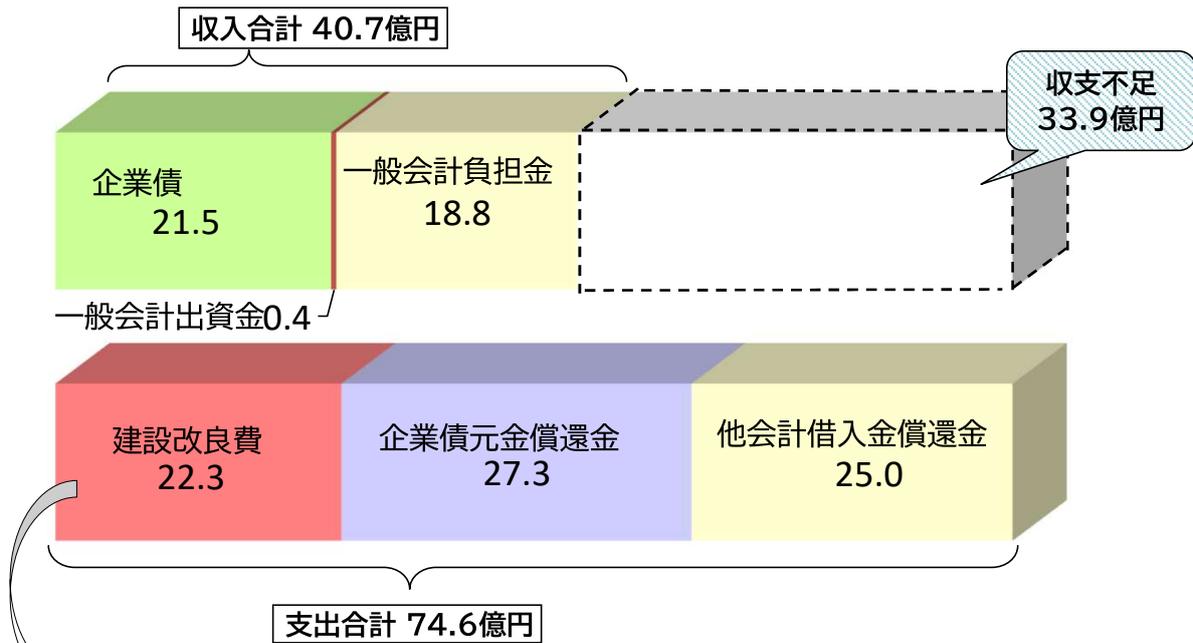
○経費 対前年度 +1.8億円
修繕費の増加、委託料の増加などによる。

○減価償却費等 対前年度 +0.4億円

○その他費用 対前年度 ▲0.6億円

収益的収支差引は14.3億円の赤字となった。前年度と比較すると15.9億円悪化している。

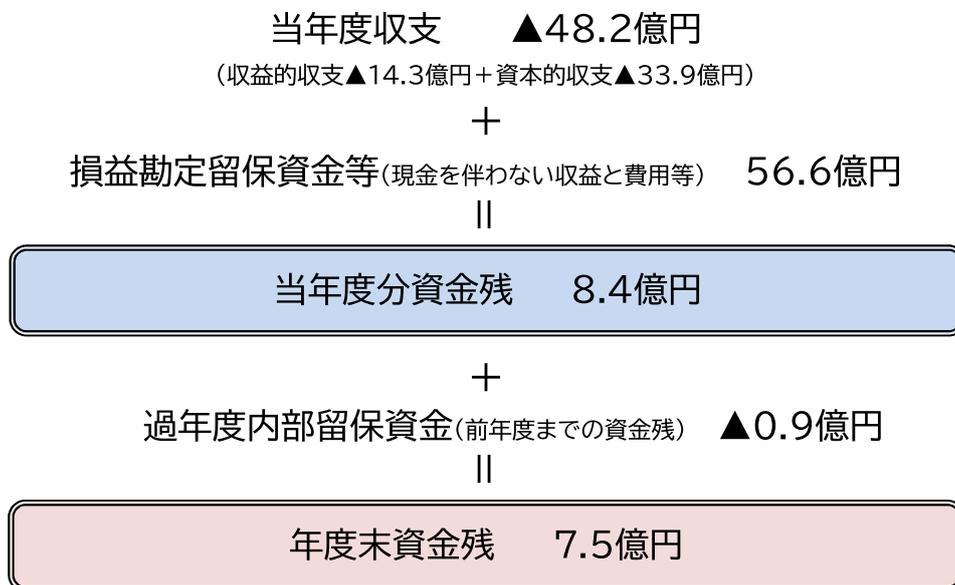
(2) 資本的収支 (税込) <建物や医療器械などの整備費用とその財源、借入金の返済など>



【建設改良費の内訳】

- 病院整備費 2.9 億円 電話交換機設備更新工事ほか
- 医療器械購入等 19.4 億円 総合医療情報システム更新ほか

(3) 資金状況



この資金については、市立札幌病院が、救急や周産期等の医療を安定して供給し、地域の医療を支えていくために活用しています。